科目区分	専門分野	授業科目	災害･国際看護
講師名		実務経験の有無	有
単位数（時間）	1 単位（30 時間）	開講年次	3 年次　第 2 学期
授業概要 ＊講師からのメッセージ	近年、洪水や土砂災害の頻度や規模が拡大し、被害も増大している中、看護職者は人々の健康にかかわる専門職として役割を発揮していくことが求められる。グローバリゼーションがますます進展化している中世界全体に目を向け学習の視点を広げ学んでほしい		

目的：災害看護を実践できる基礎的能力を身につけ国際看護における基礎的知識を理解する

目標：１．災害の概念と災害サイクルに応じた看護の役割について理解できる

２．災害時に必要な基礎的実践技術を身につけることができる

３．国際社会における看護の役割、機能を理解し、保健･医療･福祉の課題を考えることができる

回	授　業　内　容	授業方法
１～２	災害医療・看護の基礎知識 １）災害の定義、分類、特徴、災害関連死　２）災害サイクルと各期の特徴 ３）災害と法制度　４）災害の医療体制　５）災害時の対象　６）災害時の看護師の役割と機能	講義
３～４	災害サイクルに応じた活動現場の災害看護 １）トリアージ　４）災害とこころのケア　①災害後の心的反応とｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ　②災害時における救援者自身のケア　５）被災者特性に応じた災害看護：高齢者、子ども、妊産婦、障害者	講義
５～６	災害拠点病院としての目的・役割と活動：急性期・亜急性期 １）ＤＭＡＴ（ディーマット）の救命活動　①発災直後の看護　トリアージ ２）災害シミュレーション（過去の災害事例から考える災害時の看護の役割） ①亜急性期の看護、避難所の看護	講義・演習
７～８	災害看護の実際 １）災害時に必要な技術 トリアージ　　応急処置（三角巾法　一次救命処置 BLS　止血法）と搬送法　等	演習
９～１０	慢性期の看護：仮設住宅における看護 静穏期の看護	講義
１１	国際看護 １）国際救護活動　２）国際看護の基本理念、異文化理解 ３）世界の保健の動向　４）国際協力機関との連携	講義
１２	国際看護 １）国際化の視点、対象　２）国際協力活動、多様な文化と看護	講義
１３～１４	国際社会における看護の役割、機能 保健･医療･福祉の課題	講義・演習
１５（45 分）	終了試験	
評価方法	筆記試験（100 点満点）　評価基準参照	
テキスト	医学書院　系統看護学講座　統合分野　看護の統合と実際【3】災害看護学・国際看護学	
備考		